

## 地区の方針と施策



持続可能な開発目標(SDGs)の17ゴールのうちに関連する目標

真締川の東側に位置し、行政や商業施設、子育て世代や高齢者の交流施設が集積している立地を活かし、市庁舎や旧山口井筒屋宇部店の整備を核として、子ども・若者・高齢者など多世代が交流する、にぎわい創出の拠点づくりを進める。また、公園や道路、歩行者空間の質的向上を図り、歩いて暮らせる良好な居住空間を創出する。

安心して、健康で、快適にくらせるまち

- ① 市民協働のまちづくりの拠点・防災拠点として、市庁舎の建替えを行うとともに、デジタル市役所の構築並びに新庁舎広場を整備する
- ② 真締川公園や常盤通りなど、市役所周辺の公園や道路の歩行者空間の質的向上を図り、歩いて暮らせる良好な居住空間を整備する
- ③ 商業機能の低下した新天町名店街の街区のある方を見直し、共同住宅や医療・福祉サービスの複合ビルを整備する
- ④ 空き家の解体費助成や建築物等の新築・増築に係る固定資産税相当額の助成により、まちなかへの居住を促進する(全域の施策に再掲)



商業・業務など、新たなビジネスに挑戦できるまち

- ① 集客施設等の利便性向上のために利用しやすい駐車場を配置する
- ② 新天町・常盤通り・琴芝駅通り等の中心市街地内にある商店街の販売促進やファサード整備等の店舗リニューアルを支援することで 商店街の回遊性の向上と活性化を図る
- ③ 地元商業者が食料品・日用品等を扱う店舗や食堂等を開設する費用を補助し、周辺住民の生活利便性の向上を図る
- ④ 新天町商店街内の空き店舗等を活用した、若い世代が集う空間を創出する事業について、大学生等から提案を求め、実現に向けて支援する

新規追加

新たな魅力を創出し、人々が交流するまち

- ① 公共公益施設の統廃合を図り、旧山口井筒屋宇部店や市役所2期庁舎等へ公共公益機能を配置する
- ② 「遊び」「学び」「安らぎ」「交わり」の機能を有し、子育て世代の相談や活動の場ともなる子育て支援拠点「(仮称)子どもプラザ」と多世代が集い、くつろぎ・気軽にコミュニケーションを図ることができるにぎわい交流の場所等(公共機能)を整備するとともに、飲食機能などの民間機能の導入を図る。
- ③ JAXA「西日本衛星防災利用研究センター」が市内にある強みを活かし、宇宙が身近に感じられる教育を推進する。
- ④ 健康づくりの実践、情報収集、交流の場を展開する。
- ⑤ 空き店舗等を活用し、支援を必要とする子ども・若者の居場所づくりやeスポーツなどパラスポーツ体験などのイベントを開催する
- ⑥ 市民や企業の参加による真締川での水辺の新たな活用や、にぎわいを創出するイベント等の取組を実施する
- ⑦ 市立図書館を「読書のまちづくり」の拠点施設として、機能強化、にぎわい創出につながる施設整備を行う
- ⑧ 旧レッドキャベツ新天町店の空きフロア等を再生し、若者を中心とした様々な人の活動や就労等の支援ができる若者支援施設や健康関連施設等を整備する

